

COOL JAPAN AWARD2025

令和7年9月3日、大阪・関西万博会場にて開催されたCOOL JAPAN AWARD2025にて全国418件の公募の中から高千穂町が誇る観光スポット「高千穂峡」がインバウンド部門にて認定・表彰されました。

受賞したCOOL JAPAN AWARDでは外国人審査員100名が海外からみる日本の「かっこいい!」「魅力的」と評価されるあらゆる産業や文化より選定を行い、公募の中から今回46件が受賞しました。



Instagram キャンペーン

前年度に引き続き、令和7年8月1日～12月10日までの期間でインスタグラムキャンペーンを実施いたしました。「#高千穂の旅 2025」のハッシュタグをつけてインスタグラムに投稿していただきました。

本年度も多くの方々からご応募があり、その中から15名様を抽選で選ばせていただき、高千穂の特産品を進呈いたしました。ご参加いただいた皆様誠にありがとうございました。本キャンペーンを通じて皆様に素敵な写真を投稿していただき、高千穂町の認知拡大、宣伝につながったと感じております。

来年度も、引き続きインスタグラムキャンペーンを企画してまいります。



あそちは号運行開始

令和7年10月10日より「阿蘇～高千穂」を繋ぐ「あそちは号」の運行が開始しました。約3年前から九州産業交通ホールディングス、産交バスとの協議等を行ない、阿蘇を繋ぐ定期バスの運行が実現しました。中九州の観光地の代表でもある阿蘇と高千穂が繋がった事で、国内外からの来訪客増に期待が持てます。



宮崎大学インターンシップ受入

令和8年2月16日～3月17日の約一か月間、宮崎大学地域資源創生学部より2名のインターンシップ受入を実施します。今年度で3回目の参画となる本事業は、過去にインバウンド観光をテーマに活動いただきましたが、本年度は「歩く」をテーマに学生ならではの建設的なアイディアをいただきながら、国内・外問わず観光客の方が楽しんでいただけるよう新しいウォーキングコースの造成に取り組んでいただきます。

チャレンジ支援事業

高千穂観光の課題である、食事や宿泊施設の不足による観光客の満足度が上がらない現状を解決するため、新規開店を目指す方へ、店舗改修や事業継続のための運営資金の一部を支援する「新規開店チャレンジ支援事業」を実施しております。実施要項により、上限300万円を支援しますのでお気軽にご相談下さい。支援第2号として「居酒屋神平」様にご活用いただきました。



一般社団法人高千穂町観光協会
観光協会だより 第4号

令和8年1月22日発行
発行人 高千穂町観光協会

事務局 高千穂町三田井809-1
メール: info@takachiho-kanko.jp
TEL: 0982-73-1213 FAX: 0982-73-1239

最新情報はこちら→



一般社団法人 高千穂町観光協会（地域 DMO）会報 第4号

観光協会だより

会長挨拶

一般社団法人 高千穂町観光協会 会長

竹尾通洋



新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から当協会実施事業の推進に多大なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は高千穂町の観光振興の歩みを大きく進められた、実り多い一年となりました。ひときわ私どもの心を躍らせたのは昨年11月に報せられた「神楽」のユネスコ無形文化遺産への提案決定です。これは全国神楽継承・振興協議会の会長も務められる高千穂神社後藤俊彦宮司を中心としてその継承と発展に長年尽くしてきた本町の大願であります。観光協会としましても、2028年に予定される本登録へ向けてより一層励んでまいります。

また10月10日には阿蘇・高千穂間の路線バス「あそちは号」の運行も開始されました。1日3往復で毎日運行しているこのバスは、年間1000万人以上の入込を誇る阿蘇地域への待望の直通路線であり、アクセス難が叫ばれる本町の交通事情に光明の差した思いです。

加えて本誌にも別途掲載しております当協会の新社屋建設もおかげさまをもちまして予定通り進んでおります。この順風に勢いを得て、本年も高千穂観光の益々の発展のため駿馬の如く奔走してまいります。

結びに、令和8年が皆様にとりまして、良き年となりますことをご祈念し、年始のご挨拶とさせていただきます。

観光協会新社屋建設に伴う地鎮祭・上棟式

昨年、6月27日に神楽「地固めの舞」を奉納するなどの地鎮祭後、新社屋建設に着手し、11月22日に関係者の皆様にご参列をいただき上棟式神事及びせんぐまきを行いました。多くの地域の皆様にもお越しいただき、誠にありがとうございました。



工事も順調に進み、現在40%を超える進捗率で、当初予定していた6月末の主体工事の完成も早まる見込みとなりましたので、その後のOA設備や備品等の設置完了後、引っ越し作業を行い、秋の観光シーズン前までには新社屋での営業を開始したいと考えております。完成後に内覧会も計画いたします。

高千穂検定 新規ガイド紹介

高千穂町観光協会では、毎年2回、観光に携わる方や地域の皆様に、高千穂に残る神話や文化・観光施設などの知識を深めていただき、高千穂町の魅力を伝えることができる人材育成を目的に高千穂検定を実施しています。今年度も6月と12月の2回実施し、上級に14名が合格、中級に1名が合格されました。

今年度は、上級に合格したのち観光ガイド実地研修を受けていたいた6名の方が新規登録ガイドとして認定されています。また、今回より、観光ガイドに興味のある方に、先に研修を受講していただき、その後、高千穂検定の受験をしていただく取組みも行いました。観光ガイドに興味のある方は、お気軽にお問合せ下さい。



	検定日	上級合格者数	中級合格者数
第36回	6月7日	8名	1名
第37回	12月6日	6名	

NATAS HOLIDAYS 2025

令和7年8月15日～17日の3日間、シンガポール最大の旅行博 NATAS HOLIDAYS2025へ当協会としては初めて宮崎県庁と共同で出展を行いました。イベントでは、パンフレット配布、英語での高千穂へのアクセス情報の案内や、観光・体験情報の宣伝、アンケート調査、来場者へのノベルティ配布といった誘致活動を実施しました。アンケート調査では知っている又は行ったことがあると答えた人が7割を占めており注目度の高さを改めて感じる結果となりました。



ツーリズム EXPO ジャパン 2025

令和7年9月25日～28日までの4日間、愛知県国際展示場にて開催されました、世界各国・地域と日本全国の観光地が一堂に会す旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン 2025」へ出展し、高千穂町の観光PRを行ってまいりました。

本イベントでは約126,900人の来場があり、当協会ではパンフレット配布や観光案内を中心に行なながら、来場者参加型のイベントを実施し、参加者へのノベルティ配布を行いました。また本年度は「釜炒り茶」のPRにも力を入れて取り組み、釜炒り茶の魅力をお伝えしながら、ティー・パック配布やツアー体験の紹介を行い、沢山の方に高千穂の魅力・情報をお伝えする機会となりました。



九州インバウンド観光説明会・商談会

令和7年7月7日、東京都東京国際フォーラムにて、九州観光機構主催で行われた「九州インバウンド観光説明会・商談会」に参加しました。会場には、東京に事務所を構え訪日外国人向けの旅行商品の販売や手配を行う旅行会社が約65社、九州の観光関係者約80社が参加しマッチング形式で商談を行いました。

説明会では、九州観光機構より参加者全員に対して、九州の観光のトレンド情報や、九州の食べ物、アート、文化についての説明がなされ、その後商談会が行われました。商談会では8社と商談し、高千穂の観光情報や高千穂でしか体験できない感動的な体験情報のPRを行いました。「神楽」「かっぽ鶏体験」「秘境パックラフトツアー」などに対し強い関心を示していました。今後も訪日外国人向けの商品開発や情報発信を継続的に取り組んでまいります。



日本の観光物産博 2025

令和7年11月28日～30日の3日間、台湾の台北駅構内にて開催された日本の観光物産博 2025へ今年で2回目となるブース出展を行いました。ブースでは、静宜大学(台中)の学生や宮崎県人会(台湾在中)の皆様にお力添えをいただきながら誘致活動を行い、特に観光案内では本年度新たに運行が開始された「あそちほ号」を利用した来訪方法を積極的にご案内し、阿蘇・高千穂間の二次交通の利便性向上を発信してまいりました。

昨年は熊本のTSMC稼働、阿蘇くまもと空港や宮崎ブルゲンピリア空港と台湾直行便の増便・再開に伴い、台湾からの訪日観光客も大きく増加傾向にあります。過去最大級に訪日への注目が集まる今、台湾での観光PR活動は九州高千穂の認知度を高める効果的な機会となりました。



高千穂ぶらりバスツアー

令和7年12月5日、高千穂町観光協会と高千穂高校情報ソリューション科3年生が協同で「高千穂ぶらりバスツアー」を開催しました。情報ソリューション科では「観光ビジネス」理論を学んでおり、学んだ知識を活かして、地域活性化を目的としてバスツアーを造成・販売し、当日ツアーの案内を行いました。情報ソリューション科3年生は、7月に高千穂検定を受験し、全員が合格し高千穂の観光に関する知識を学んでいただきました。

バスツアーには12名のお客様が申し込まれ、午前中は高校生による地域活性化の取り組みの発表、午後からは高千穂町内を観光するツアーに参加しました。高校生は実際に観光ガイドをする事で、地域の魅力を知ることができ、おもてなしの実践の機会を体験することができる貴重な時間となりました。



高千穂峡乗合タクシー実証実験の開始について

令和7年11月17日(月)から、高千穂峡周辺の駐車場を周遊する「高千穂峡乗合タクシー」の実証実験が開始されました。

運行会社：神和交通株式会社

運行経路：第4押方駐車場→第3大橋駐車場→高千穂峡乗降所(高千穂峡石碑前)

→第2あららぎ駐車場を巡回

午前9時始発で20分毎のダイヤで上記のコースを循環します。(※最終は午後5時発) 料金は1回乗車につき、大人200円、小学生以下100円、未就学児無料となっています。実証開始後初めの3連休(11月22・23・24日)は、合計で2,000名以上の多くのお客様にご利用いただき、大きなトラブルもなくこれまで運行できています。来年度から本格運用できるよう、実証を重ね、利用者に喜ばれるようなサービスを目指してまいります。



こども博士認定授与式について

高千穂小学校、岩戸小学校にて、令和8年1月7日にこども博士認定授与式が執り行われました。

今年度でこども博士認定者は177名となり、沢山のこどもたちが高千穂の歴史や文化について学んできました。認定者へは「こども博士ストラップ」と当協会マスコットキャラクターである「うずめちゃんストラップ」をお贈りしました。本活動を通して、高千穂の将来を担うこどもたちに地元への関心と愛着を深めていただければと思います。

岩戸小学校の皆さん



高千穂小学校の皆さん

観光庁：「神話の里 高千穂」の自然・文化景観を後世まで守り継ぐためのICTを活用したごみ箱設置事業

観光地の景観保全と観光客の不便を解消するため、観光客が集中する高千穂峡を中心に、ICTを活用したごみ箱「SmaGo」を設置しました。ごみ箱があることの安心感から、ティクアウトを含めた購入意欲を高め、消費喚起に繋がることも期待されます。

今後も観光客を受け入れ、観光客と共に地域住民が誇りを持てる美しい景観を守り継いでいく事業を行ってまいります。

観光庁：神話と伝説のまち高千穂 受入環境整備高度化事業

高千穂観光の滞在時間の拡大、閑散期における宿泊者数の増加を目的として、新たに夜間コンテンツの磨き上げを行います。

今回の事業では、本町の代表的な観光地である「高千穂峡」と「高千穂神社」のライトアップを復活させます。また、この2点を繋ぐ周遊ルートを明確に打ち出すことでナイトタイムエコノミーの環境整備を行い、宿泊者数の増加や観光客の年間平均化を促して滞在型観光地を目指してまいります。